

## みそ作り&そば打ち合宿実施報告

令和2年1月22日

### 1. 目的

「みそ作り」や「そば打ち」といった秩父別の文化を留学生にモニターとして体験してもらい、外国人も楽しめる町内のアクティビティ調査を行う。

### 2. 日程

令和2年1月17日(金)～18日(土)

### 3. 内容

#### ●実施スケジュール

| 1月17日(金)    |                  |                            |
|-------------|------------------|----------------------------|
| 9:35        | 深川駅集合            | 8:30 札幌駅(ライラック3号)<br>深川駅迎え |
| 10:30-14:00 | そば打ち開始<br>昼食 片づけ | そば打ち道場→加工センター              |
| 14:00-15:00 | 郷土館案内            | 郷土館                        |
| 15:00-16:00 | 鹿角アクセサリー作り       | スポーツセンター                   |
| 16:00       | 温泉チェックイン<br>自由行動 |                            |

| 1月18日(土)   |              |             |
|------------|--------------|-------------|
| 9:00       | 温泉チェックアウト    |             |
| 9:30-12:30 | みそ作り         | 加工センター      |
| 12:30      | 昼食           | 家紋          |
| 14:10      | 秩父別駅集合<br>解散 | 14:18 秩父別駅発 |

### ●そば打ち

講師：そば打ち同好会

大池さん、速見さん、高村さん、竹内課長

場所：そば打ち道場

内容：そば打ち同好会会員を講師に迎え、そば打ちを体験。

全体に口頭で作業の説明をしたあと、参加者それぞれに講師がついて指導を行った。打ったそばはお土産とし、昼食では同好会の方が打ったそばを食べた。

### ●鹿角アクセサリー作り

講師：地域おこし協力隊橋本隊員

場所：スポーツセンター小会議室

内容：輪切りの鹿角をやすりで磨き好みの色合いに仕上げ、ネックレスやストラップに加工する。

作り方が書かれた写真付きのプリントを配布していたが、細かい作業は伝わりにくかったので、講師にデモンストレーションしてもらった。

### ●みそ作り

講師：秩父別振興公社氣田さん

場所：加工センター

内容：公社主催の町民向け事業「ご近所先生加工教室」に参加する形で実施。

最初に、パワーポイント（写真・動画メイン）でみそ作りの流れの説明を受けた後、町民と協力しながらみそ作りをしたり、待ち時間にみそに関するクイズに挑戦した。できあがったみそは真空パックに入れて、各自持ち帰った。

## 5. アンケート

本事業へ参加した留学生に、各体験で感じた「良かった点」と「改善点」を書き出してもらった。アンケート結果は各体験へフィードバックし、今後のインバウンド事業や国際交流事業の参考とする。

## 6. 所感

アンケート結果から、参加者が秩父別での体験に求めているものとして次の共通点と、それらに対する課題が挙げられた。

### ①地域の人と交流する機会が得られること

「地元の人に教えてもらったそば打ち」、「地域の人と交流できたみそ作り」など、地域の人と交流できたことに対する満足度が高かった。魅力度を上げるためには、体験だけではなく秩父別の“人の発掘”も必要な要素となる。秩父別町における国際交流事業への協力者数は

年々増えているが、広報や Facebook で事業内容を周知し、より多くの町民の関心・協力を得ることが重要である。

②秩父別と関連付いた体験であること

今回の体験はいずれも秩父別の農業や環境に結び付いたものであるが、「なぜ秩父別でそば打ちが、鹿角が、味噌作りが体験できるのか知りたかった」という意見が多く、参加者にはうまく伝わっていなかったようだ。体験と地域の関係性を明確に伝えることで、より魅力度がアップすると考えられる。

③体験内容の説明がわかりやすいこと

みそ作りの動画を使った説明がわかりやすいと評価が高かった。ほかの体験についても、動画やデモンストレーションを取り入れた説明をすると、言葉ではわからない部分も伝えられるようになり、理解が深まると思う。

また、今回参加した留学生の多くは北大の日本語中級・上級クラスに所属する学生だが、それでも日本語で書かれた案内や、普段聞き慣れない日本語の理解は難しく、「外国人に伝わる日本語」について考える場面が多々あった。

最後に、参加者の中に、『田舎へ行こう!』へ参加した友達から「秩父別は絶対に行った方がいい」と勧められて参加した学生がおり、これまでの事業が訪日外国人に対し秩父別への関心を高める効果をもたらしていると示唆された。

(体験の様子)

|                                                                                     |                                                                                     |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |
| そばうち Ⅰ                                                                              | そば打ち②                                                                               | 鹿角アクセサリー①                                                                             |
|  |  |  |
| 鹿角アクセサリー②                                                                           | みそ作り①                                                                               | みそ作り②                                                                                 |